



第16号

ニュース

ニュース

加盟団体

- ・ NTT西日本広島
- ・ サンフレッチェ広島
- ・ JTサンダース
- ・ 湧永製菓
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ ソフトテニスクラブ
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島東洋カープ

球宴出場



前田健 初

東出 ④ 広瀬 初

ケガの栗原 辞退

プロ野球の第60回マツダオールスターゲームは23日ヤフードーム、24日ハードオフ新潟で行われるが、セ、パの出場選手各29人が決まった。

カープからはファン投票で前田健、栗原、東出の3人が選出されたが、一塁手で選ばれた栗原は右手首骨折のため出場を辞退し、代わって外野手広瀬が初出場することになった。

エース前田健が全ポジションを通じて最多の43万5,375票を得票、プロ4年目で初の球宴初出場を決めた。投手がセ、パを通じて最多得票を獲得したのは、1975年の太田幸司(近鉄)以来35年ぶり。

東出は監督推薦を含めて4度目。リハビリ中で辞退した栗原は3度目の選出だった。

フレッシュには4人

フレッシュオールスターゲームは22日、ビッグNスタジアムで行われ、ウエスタンリーグ選抜に投手の武内、今村、内野手に堂林、外野手に岩本の4人が出場した。

あいにくの天候ながら初心者から経験者の中学生まで約60人の子どもたちが参加しホッケーの魅力堪能。サイン会もあり、触れ合いを深めた。

コカ 初V暗雲



攻める駒澤をマークする南都銀行の中川



《コカ・コーラウエスト 成績》

※第4節

○2 (1-0、1-0) 0山梨学院大

○1 (0-0、1-0) 0グラクソ

※第5節

▽2 (2-1、0-1) 2天理大

○2 (0-0、2-1) 1南都銀行

(注) グラクソはグラクソ・スミスクライ

ン

11日の南都銀行戦は後半、先制を許したが、為藤、李仁敬のゴールで逆転。南都銀行の執拗な反撃を防ぎ、6勝目を挙げた。

日本リーグは8月にアルゼンチンで行われるワールドカップで中断、9月19日再開する。

ホッケー日本リーグ女子は第5節が終わりに、コカ・コーラウエストは6勝3分け1敗、勝ち点21、ソニーHCに続き2位につけている。10、11日に地元で行われた第5節は、ソニーを逆撃のチャンスだったが、初日の天理大に終了1分前に同点とされ、悪夢の引き分けに終わった。この結果、首位ソニーとの勝ち点差は「7」と開き、悲願の初優勝へ暗雲が立ち込めた。

天理大に悪夢のドロ

ホッケーの楽しさ伝授

日本リーグが開かれた11日の試合終了後、小・中学生を対象にしたホッケー教室が開かれ、ホッケーの楽しさを伝えた。



《日本ホッケーリーグ 順位表》

	試	勝	分	敗	勝点
①ソニーHC	10	9	1	0	28
②コカ・コーラウエスト	10	6	3	1	21
③南都銀行	10	5	1	4	16
④天理大	10	4	3	3	15
⑤東海学院大	10	5	0	5	15
⑥山梨学院大	10	4	0	6	12
⑦立命大	10	2	0	8	6
⑧グラクソ・スミスクライ	10	1	0	9	3

(注) 4、5位は得失点差による



シーズンインダッシュならず

LEOLIC

実業団のシーズンインとなるハンドボールの全日本実業団選手権は7日から5日間、徳島市立体育館などで開かれ、男子の湧永製菓は4強で争った決勝リーグ3敗で4位、女子のメイプルレッズは予選リーグで敗退、三重バイオレットアイリスとの5位決定戦を戦い、辛うじて逆

全日本
実業団

転、1点差できわどい白星を挙げた。

優勝は男子が大崎電気で2年ぶり15度目、女子はソニーセミコンダクタ九州で初めてのタイトルをつかんだ。

なお、最優秀新人賞は男子が湧永製菓の樋口睦、女子はメイプルレッズのGK田口舞が輝いた。

4
位

《Jリーグ 成績》

- ※第11節
- 0 (0-0、0-5) 5C大阪
- ※第13節
- 3 (2-0、1-0) 0横浜



J再開

ワールドカップのため中断していたJリーグが14日、約2カ月ぶりに再開した。

暫定9位につけていたサンフレッチェはアジアチャンピオンズリーグ(ACL)のため未消化だった第11節のC大阪戦でスタートしたが、0-5で大敗。しかし、続く横浜戦は運動量が戻り、3-0で快勝。7位に浮上した。

ACL 2年連続出場を目指し、今後どのような戦いをするか注目が集まる。ケガ人もほぼ回復し巻き返しが期待される。

《Jリーグ勝敗表》第13節終了現在

	試	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
①鹿島	13	8	3	2	27	22	11	11
②清水	13	7	5	1	26	23	12	11
③名古屋	13	8	1	4	25	19	14	5
④川崎F	13	6	3	4	21	23	22	1
⑤C大阪	13	5	5	3	20	19	14	5
⑥浦和	13	6	2	5	20	20	17	3
⑦広島	13	5	4	4	19	15	17	-2
⑧G大阪	13	4	6	3	18	25	21	4
⑨横浜FM	13	5	3	5	18	18	16	2
⑩新潟	13	4	6	3	18	15	14	1
⑪山形	13	5	2	6	17	14	19	-5
⑫磐田	13	4	4	5	16	14	17	-3
⑬FC東京	13	3	6	4	15	14	13	1
⑭仙台	13	3	4	6	13	14	20	-6
⑮神戸	13	3	3	7	12	14	19	-5
⑯湘南	13	3	3	7	12	13	21	-8
⑰大宮	13	2	4	7	10	9	15	-6
⑱京都	13	2	4	7	10	15	24	-9

V4へ発進



《Vサマーリーグ JT成績》

- ▽1次リーグ
- 3-0東京トヨペット
25-14、25-12、25-18
- 2-3警視庁
23-25、23-25、25-19、
25-22、14-16
- 3-1大同特殊鋼
25-16、25-20、21-25、
25-20
- 3-0富士通
25-18、25-20、25-22

2010V・サマーリーグが開幕、17日から3日間、兵庫県南あわじ市の市文化会館で1次リーグを行い、4連覇を狙うJTは2試合目の警視庁に苦杯したが3勝1敗、1位で決勝リーグ進出を決めた。
決勝リーグは9月11日から愛知県春日井市総合体育館で開かれる。

1次1位 決勝へ

大分の神田を獲得

JTは大分三好の神田聖馬(25)を獲得した。強力なスパイクサーブが持ち味で、左右の両ポジションをこなし、バックアタックも得意。
日体大から07年に大分入り、翌年の国体で大分優勝に貢献した。193㌢、85㌔。背番号5。



団体戦 女子奮闘

チャイニーズカップ
広州大会は6月23日から4日間行われ、日本は女子団体と男子シングルス、ミックスダブルスで奮闘、3位までを独占した。NTT勢では長江、大庭、塚田が栄冠をつかんだ。

チャイニーズ
カップ
広州大会

【男子】ダブルス ①長江・荒尾(宇部興産)
【女子】団体戦(3位まで日本) ①大庭②佐々木、塚田③山本、榎本
▽ダブルス ①塚田・山下(山口県体協)
【ミックスダブルス】(3位まで日本)
②高川・上原(ナガセケンコー)③佐々木・篠原(日体大)

子供たちと交流

スポーツフェスタ2010が6月26日、広島市東区スポーツセンターで開かれ、トップス広島からサンフレッチェ、JT、湧永製薬、広島メイプルレッズ、広島ガス、NTT西日本広島、中国電力の加盟7チームが参加した。

あいにくの空模様にもかかわらず詰めかけた約800人の子供たちと上体起こしなどの新体力テストや各種教室、サイン会などで楽しい1日を過ごした。

また、最後には子供たちと組んだ参加チーム選手対抗リレーもあり、大声で互いに声援を送るなど大いに盛り上がった。

東区でスポーツフェスタ



《中国総合選手権県予選》

【シングルス】武田2-0高橋(広島大) 前田2-0川本(広島大)
▽準決勝 武田2-1井上、前田2-0小田(広島シャトル)▽3位決定戦 井上2-1小田▽決勝 武田2-0前田
【ダブルス】準決勝 井上・前田2-0三原・岡崎(スバスタ)▽決勝 井上・前田2-0中村・殿川(TBF)



単・複とも1位

中国総合選手権県予選

中国総合選手権県予選は4日、広島市安芸区スポーツセンターで開かれ、広島ガスはシングルスで武田、ダブルスで井上・前田が1位となった。

札幌ハーフマラソンは7日、札幌円山競技場発着で行われ、伊達秀晃が1時間4分42秒で15位となった。尾方剛は1時間8分50秒で83位だった。

中国電力
陸上競技部

■県選手権■(6.26、27・コカ・コーラウエスト広島スタジアム)
▽1500㌔ ①田子康宏3分50秒76▽5000㌔ ④白浜三徳14分36秒99

札幌ハーフマラソン

伊達15位



ロゴマークの意味

広島県の花、広島県の木として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。
ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。